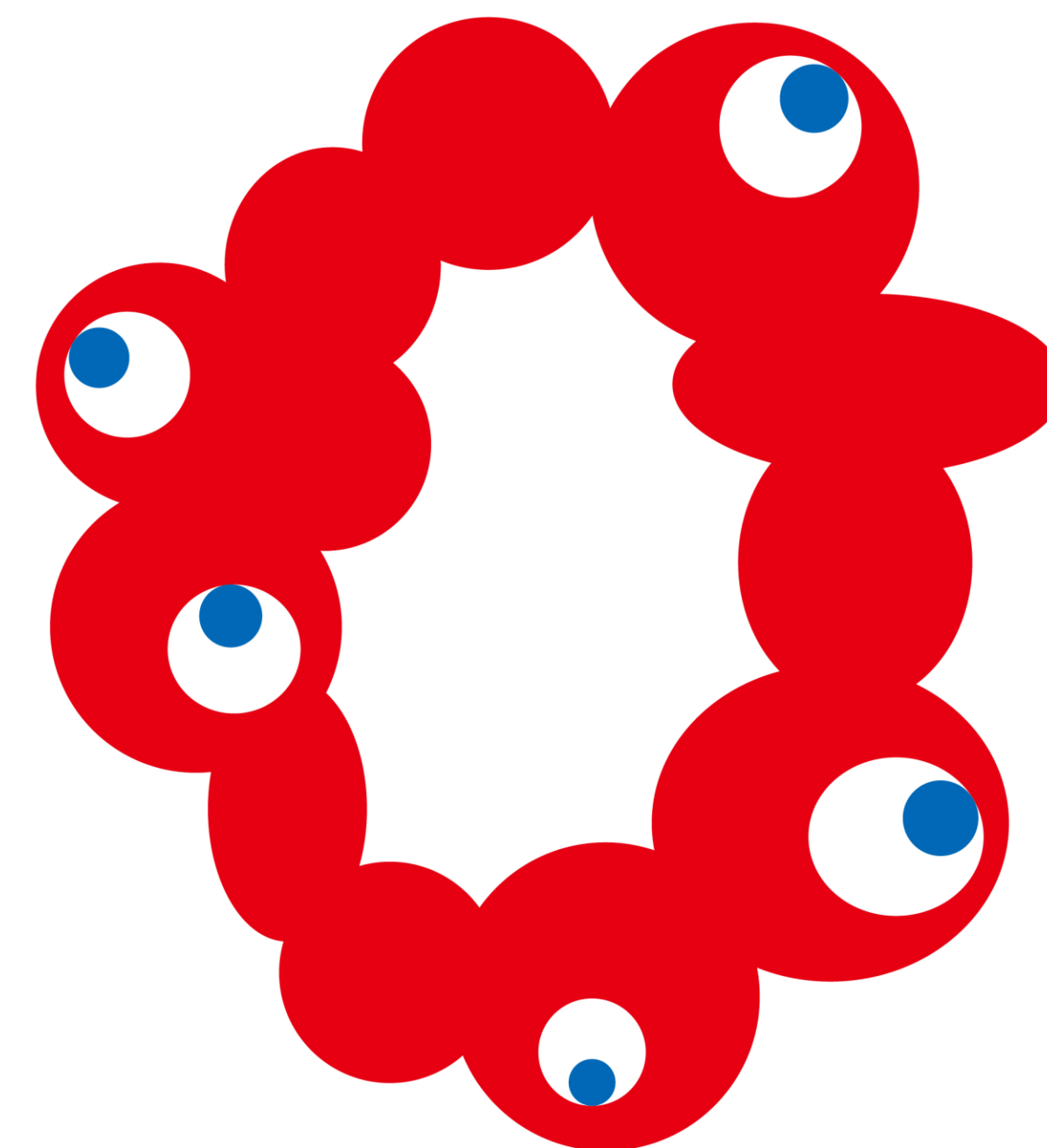


EXPO COMMONS VISION / ACTION PLAN



2022.12.15

OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025



テーマ:

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

サブテーマ:

- ・Saving Lives(いのちを救う)
- ・Empowering Lives(いのちに力を与える)
- ・Connecting Lives(いのちをつなぐ)

コンセプト:

- People's Living Lab -

未来社会の実験場

EXPO 2025
／開催概要



EXPO COMMONS VISION



EXPO COMMONS とは

EXPOをきっかけに
世界中の
課題と解決策、人とアイデアをつなげ、
共にアクションするための
インターネットを中心とした
プラットフォーム



2025 EXPOのコンセプト PLLを体現する事業 EXPO COMMONS

万博のコンセプトである”People’s Living Lab”を体現し、実装するために、EXPO COMMONSを立ち上げます。

EXPO COMMONSでは、言語の壁を超えて、世界中の人々がアイデアを交換し、課題やソリューションを共有することで、共創を生み出していくためのプラットフォームを実装します。

世界中のさまざまな情報を集め、繋ぎ合わせていくことで新たなアイデアを創造し、発信する場を創り上げます。



EXPO COMMONS が目指すこと

- 1 | 場所や言語、文化や環境を超え、
世界中のすべての人が参加可能であること
- 2 | 人間や生物、地球の命を持続させるためのアクションの創出

共創プロセスを通じて、世界中で、世界をより良くするためのアクションが生まれることを目指します。また、アクションが促進されるように、新たな価値評価やコミュニティのあり方の検証と実装を行います。
- 3 | 博覧会協会以外のアクションとの積極的な連携

「TEAM EXPO 2025」プログラムを中心として、博覧会協会以外の行政や民間企業などの動きと積極的に連携していくことで、次の社会をつくるインフラストラクチャーとして実装します。
- 4 | 万博のレガシーとしての継承

EXPO COMMONSというプラットフォームを創ること、また「共創」を推進するこの取り組み自体が、2025年に万博を行う意義であり、その証となります。

EXPO COMMONS という次世代 プラットフォーム

／for NEXT Internet

／Web3.0|De-centralized Platform

1851年に初めて国際博覧会が開催されてから150年以上経つ今、万博は時代と共に変化・進化しています。同時に新しいテクノロジーは世界を小さくし、様々な情報がどの場所からでも、個人でも発信し、言語を超え、文化を超え、環境を超えてつながることができるようになりました。

まだまだ、インターネットは進化を続けています。

Web3.0という中心を持たないコミュニティプラットフォームの実装や、BlockChainが可能にしたNFTもインフラとして機能する時代が来ようとしています。

言い換えれば、

すべての人が目の前にある課題のためにアクションができる時代が来ようとしています。

貨幣価値ではない価値の交換やTOKEN、

コミュニティエンゲージメントツールを活用した貢献等も今後社会に実装されていくことでしょう。

だからこそ、2025年大阪関西万博ではEXPO COMMONSというプラットフォームを創り、技術が可能にするこれからのコミュニティ・コミュニケーション・社会貢献のあり方を世界中の人が集まる万博で実装していきます。



EXPO COMMONSの 経緯と意義

／PLL Talks

「サイバー万博(仮称)」

／EXPO

OUTCOME

DESIGN

COMMITTEE

2021年に、EXPO PLL Talksの場を活用して大阪・関西万博のプロデューサーや有識者と全15回にわたってEXPO COMMONS実施の可能性や新しい万博の価値について、議論を行いました。(Appendix #1)

また、EODC(Expo Outcome Design Committee)という各分野のデザインのエキスパートを集めた会議体では、万博開催の意義や目的・定義について、再度議論を重ねました。(Appendix #2)

その結果、万博はEODCの報告書に掲載されているとおり「地球のシステムが減びないためのアクションを実装し続ける社会の実現」という究極のアウトカムに向かって位置づけられるべきだと考えています。

EXPO COMMONSは、EODCやEXPO PLL Talksの議論を経て、実現方策を吟味し、ACTION PLANの詳細を検討しています。



EXPO COMMONS ACTION PLAN



EXPO COMMONS の具体化

2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)は2018年11月の開催決定以降、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の発足、2020年12月には、基本計画を公表し、計画の具体化を進めてきました。コンセプトは、People's Living Lab(PLL:未来社会の実験場)を掲げており、共創により未来社会をデザインすることを宣言しています。

では、世界がパンデミックに襲われた時代に、地球が限界に達する時代に、SDGs達成や環境負荷低減に経済、産業や人々の生活が向かう時代に、インターネットや技術の普及でコミュニケーションの方法が変わった時代に、共創による未来社会はどのようにデザインすべきでしょうか。

世界中の誰もが自分たちの未来へのアクションを行い(Action for Lives)、またそのアクションにつながる(Connect to Action)ことが、この時代に実施すべき万博であり、これまでとは異なる万博です。そこで、新しい万博のあり方として、サイバー空間にもう一つの万博会場であるEXPO COMMONSを設置します。もう一つの万博会場とは、万博の会期前・会期中・会期後という時間軸と万博会場の中と外、オンライン空間という空間軸を取り払い、誰もがいつでもアクセスすることを可能にするプラットフォームを意味しています。

大阪・関西万博が開幕する2025年は社会課題の解決の通過点ではありますが、世界中の人たちが自分たちの力を持ち寄り、社会課題を解決する共創の場をリアルの世界とオンラインの世界で共有できるよう、EXPO COMMONSと名付けたプラットフォームを実装します。

EXPO COMMONS ／万博での位置付け

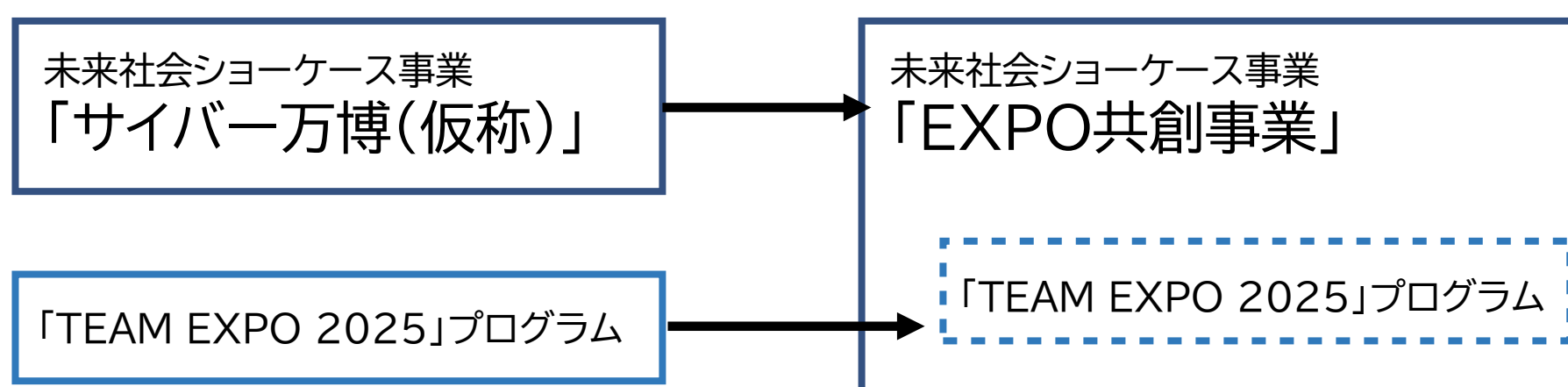
■EXPO共創事業

未来社会ショーケース事業「サイバー万博(仮称)」は、新たに「EXPO共創事業」に名称を変え、共創に関わる分野を、ご参画いただくみなさま方と共に推進していきます。

EXPO COMMONSや「TEAM EXPO 2025」プログラムなど、共創に関わるプロジェクトは全て「EXPO共創事業」に包括されるようになります。これらの取り組みは、企業などの民間のみなさまと共に考え、構築し、実装していくものとなります。

インターネット上にとどまらず、リアルにも積極的に取り組みを展開していき、万博のコンセプトである共創を体現し、実装し続けることを目指します。

■協賛体制



■プログラムの整理



=

EXPO COMMONS

EXPO COMMONS ／Components

Co-Creation | Action

・「TEAM EXPO 2025」プログラム



万博に団体・企業として参加する | 共創チャレンジ・共創パートナー
多様な人たちがチームを組み、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、
みんながつくる参加型プログラムです。

<https://team.expo2025.or.jp/>

・Co-Design Challenge and more

Media | PLL talks, After2025

Community | Global Network

Search | Contents Curation



EXPO COMMONS

／各フェーズのOutcome
／実装スケジュール

■EXPO COMMONS Phase01:情報の整理と発信

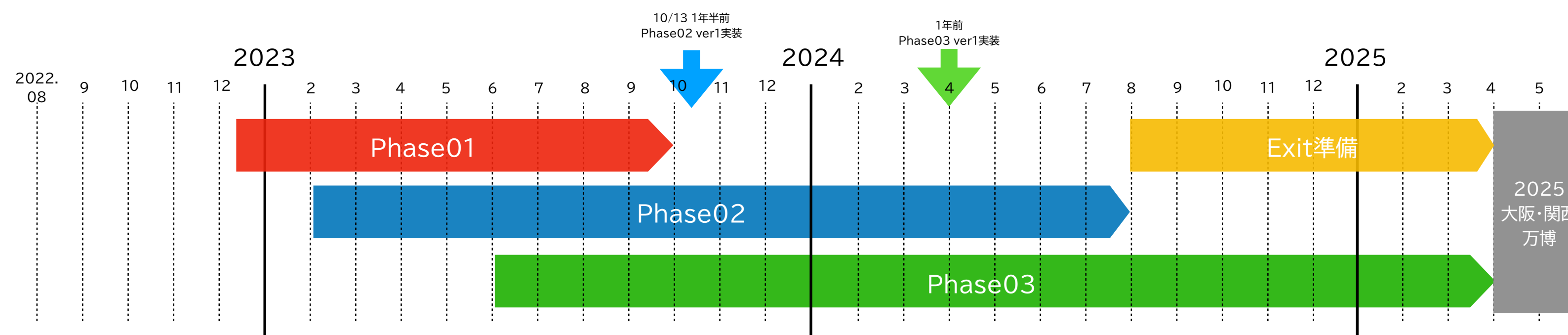
EXPO COMMONSの目的と意義を発信すると共に、既に行われている共創の取り組みやユースケースの情報発信を行います。課題と解決策、人とアイデアの情報を体系化して発信することで情報を見つけやすくし、参加の容易さを目指します。

■EXPO COMMONS Phase02:コミュニティの形成

組織や所属に関わらず、さまざまな人が参加できる仕組みを実装し、共創を生み出すためのコミュニティ形成の促進を行います。課題とノウハウを持っている人がマッチングし、ユースケースの公開などを行うことで、アクションを起こす人を支援し、良いアクションが続く仕組みの実装を目指します。また、それにより各アクションや問題意識を持った人などがコミュニティを形成できるような仕組みを実装を目指します。

■EXPO COMMONS Phase03:コミュニティの自走・スケール

Phase02で作られたコミュニティが国や言語の壁を超えて世界を巻き込み、スケールしていくことを目指します。世界中の課題を一丸となって考え、アクションを実装しつつけていく契機にしていきます。また、さまざまな取り組みを評価できるように、その取り組みなどの価値を担保できるシステムを導入することで、コミュニティが自走していくための仕組みの実装を目指します。



EXPO COMMONS

／想定機能
／Phase01

■実装を想定している機能

・After 2025やPLL Talksなどの既存のコンテンツのまとめ

- 既存の万博の情報をキュレーションしまとめ、わかりやすく発信します。
- 情報をまとめて発信することで万博の活動の動向などを把握してもらうことを目指します。

○まとめのコンテンツ

- ・PLL Talks (サイバー万博(仮)シリーズなど)
- ・After 2025
- ・Co-design Challenge
- ・「TEAM EXPO 2025」プログラム

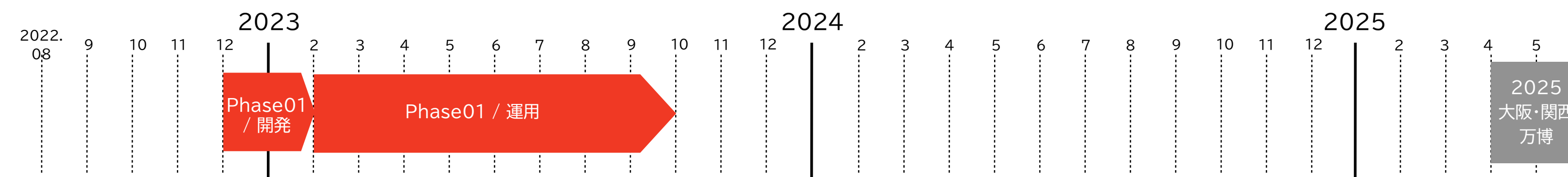
・取り組みやドメインでのコンテンツの検索／ソート機能

- 「TEAM EXPO 2025」プログラムの活動や参加企業など、わかりやすく体系化し、アクセスしやすい環境を整備します。
- 現在起きているアクションに参加したり、自ら行動するきっかけになることを目指します。

・情報発信などのメディア機能

- 現在取り組まれているコンテンツなどのリアルタイムな情報の発信を行います。
- 社会とのタッチポイント増やすことで、機運醸成を図ります。

■想定開発期間：



EXPO COMMONS

／想定機能
／Phase02

■実装を想定している機能

・企業と企業などのマッチング機能

→アイデアを持つ人と技術を持つ人など、アクションが実装されるために必要な人が繋がる機能を実装します。

・共創の取り組みのノウハウ公開

→EXPO COMMONSを通して生まれた、共創の取り組みなどのノウハウを公開します。

まだアクションができていない人や同じ悩みを抱える人を助け、アクションの促進を目指します。

・一般ユーザーの参加推進機能

→アイデアやパートナーの募集など、進行するプロジェクトに参加できる仕組みを実装します。

→ひとりひとりが思いついたプロジェクトを登録し、実装を目指します。

→各プロジェクトへアイデアを伝える機能や、コミュニティへのコメントをする投稿機能を実装します。

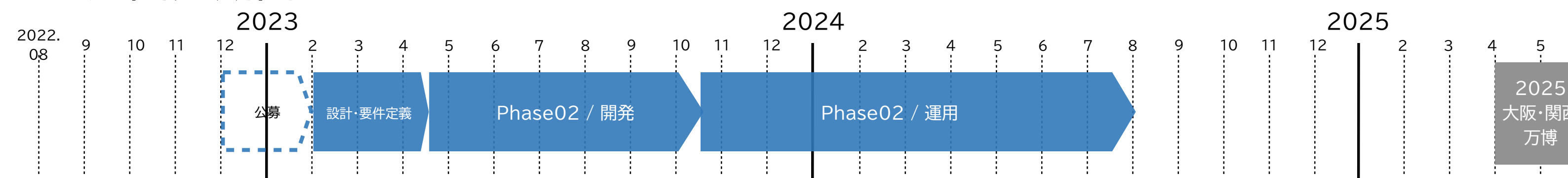
・取り組みなどの記事投稿

→リアルタイムで実施しているアクションなど、EXPO COMMONSを軸に現在起きている活動の発信を行います。

・EXPO TOKEN

→貨幣価値で換算されないが社会的に意味のある取り組みなどを評価し、独自のエコシステムが形成されることを目指します。

■想定開発期間：



EXPO COMMONS

／想定機能
／Phase03

■実装を想定している機能

・スマートコントラクトの実装

→さまざまなネットワークやアクションが生まれやすくなるように、
効率的な契約手法や貨幣価値だけではない価値への評価の実装を目指します。

・プラットフォームの多言語対応

→言語の壁を取り払い、世界中で共創が生じるようにさまざまな言語に対応させていきます。

・全国を取り組み紹介のための機能の実装

→どの地域でどんな取り組みが行われているかなどの情報がわかりやすく検索できる機能を実装します。

■想定開発期間：



EXPO COMMONS

／Phase01で
行うべき取り組み

■EXPO COMMONSが実装された際に、どのように機能するかを
実証するために、Phase01で下記のユースケースの開発を行います。

○自治体版の「TEAM EXPO 2025」プログラムとしての地域連携策の実装

各地域が抱えている課題解決を行うために、地域と地域、地域と企業などを繋げ、
共創的に課題に取り組み、解決していくプロセスの体系化を行います。



EXPO COMMONS

／コミュニケーション ツールの導入

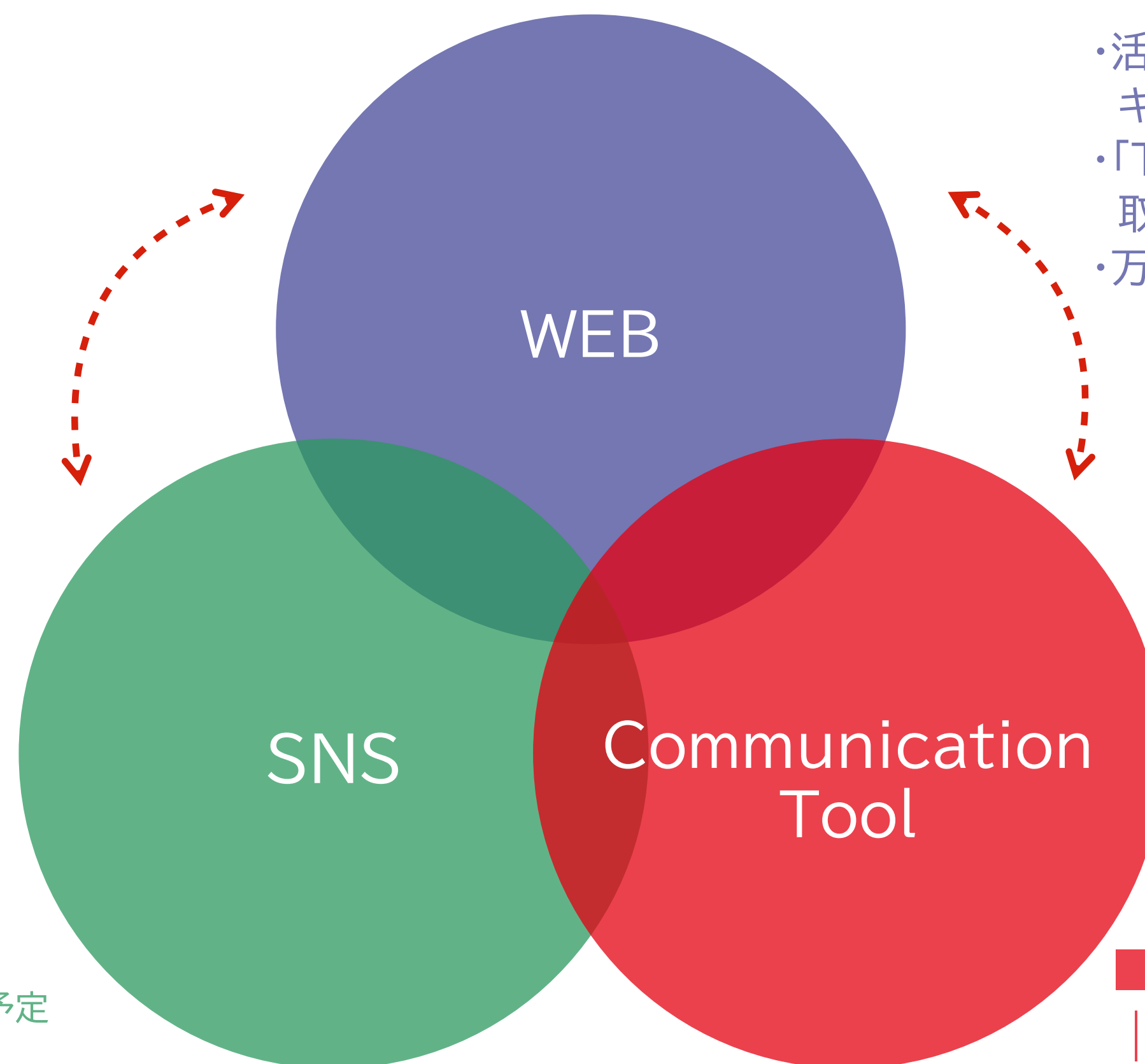
すでにWeb3.0の開発などに用いられているコミュニケーションツールを導入することで、コミュニティの形成や運用を行い、EXPO COMMONSに関係する人や企業を増やしていきます。

- ・ツール内では、開発を進める場から、何気ないコミュニケーションの場まで、さまざまなレイヤーの人が参加できる環境を構築することができます。
- ・また、能動的にアクションを起こしていく土壌が形成されており、自律的にコミュニティが運営されやすい傾向にあります。

以上のことから、誰しものが参加可能であり、アクションができる機運を醸成することができます。



EXPO COMMONS ／Phase01の 機能の整理



■Web | 既存情報整理

※未実装／今後実装を予定

- ・活動のコンテンツの
キュレーション／まとめ
- ・「TEAM EXPO 2025」プログラムの
取り組みなどの体系化された情報の発信
- ・万博への参加を誘発する入口の創出
and more

■SNS | 情報発信

※未実装／今後実装を予定

- ・リアルタイムでの
活動の情報発信
- ・社会との
タッチポイントの創出
and more

■Communication Tool | アクティブなコミュニティの形成

※今後導入を予定

- ・コミュニティの形成
- ・コミュニティの運用
- ・参加者の能動的な活動の創出
- ・EXPO COMMONSの開発
and more

EXPO COMMONS

／実現が
期待されること

○世界中の地域との連携

万博首長連合や内閣官房のアクションプラン、ホストタウンや各国の領事館などとも連携し、世界の各地域と密に連携を行います。各地域で行われている取り組みなども積極的に巻き込み、グローバルに地域間の人や情報の流れを生み出し、回遊することを目指します。

○業界を横断した企業との連携

EXPO COMMONSでは、すべての人の参加を募集しております。共創を主たる目的としているので、同じ業界での横連携や他業種とも密に連携をとり、アクションを実装していくことが可能です。

○万博という枠組みを活用した情報の発信

EXPO COMMONSは日本のみならず世界とも繋がるプラットフォームを目指しています。そのため、EXPO COMMONSに参加し、アクション行うことで、みなさまの情報を世界中の人に届けることができるようになります。



EXPO COMMONS

／参加方法

EXPO COMMONSはみなさまのお持ちの技術や能力をお借りしながら、一緒に実装していきたいと考えています。
企業・団体・個人に関わらず、すべてのみなさまのご参加が可能となります。
未だ社会に実装されていない共創プラットフォームの実装のため、
下記のような構築に不可欠となる技術・システム、また、アイデア等をお持ちのみなさまのご参加をお待ちしております。

期間	技術やシステムの例	概要
Phase 01	既存のコンテンツキュレーション	既存の博覧会協会の情報を体系化し、情報発信をする
	メディア機能	現在取り組まれている協会のコンテンツなどの情報の精査・発信や、共創パートナーの企画との連携などを行う
	ウェブサイトの構築	協会が保有する情報などが整理・集約されたポータル機能の実装などを行う
	コミュニティの運用ツール	参画した人たちが自由にコミュニケーションをとることができるチャットサービスやコミュニティアプリなどの運用を行う
Phase 02	コミュニティエンゲージメントツールの実装・運用	所属などに限らず誰もが主体的にプロジェクトに関わることができるツールの実装・運用を行う
	マッチング機能	「TEAM EXPO 2025」プログラムにご参画いただいた企業同士や課題とアイデアを持つ人たちをマッチングさせる
	ブロックチェーンの構築・実装	EXPO COMMONSで生まれたコミュニティが自律的に機能するようにトークンの発行などを行う
	コンテンツの制作	EXPO COMMONSを軸として、生み出されたアクションの取りまとめや発信などを行う
Phase 03	翻訳技術	海外とのコミュニケーションや接点を増やすために、コンテンツなどの翻訳を行う
	WEB3.0の構築技術	アクションが円滑に進むようにスマートコントラクトの実装を行う
	取り組みや情報の可視化の技術	EXPO COMMONS上で生まれた取り組みやデータなどにアクセスしやすいように情報の精査と可視化を行う

Appendix



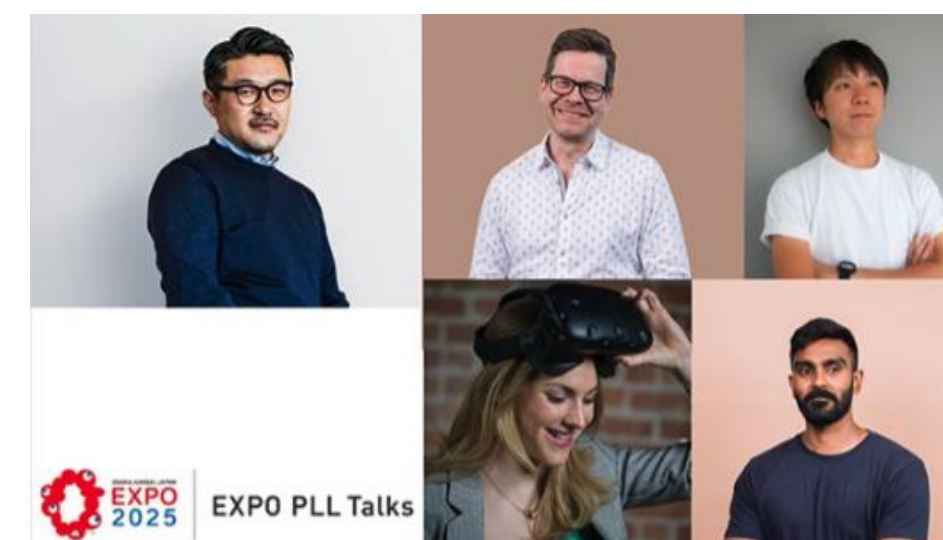
■EXPO PLL Talks「新しい万博の価値—サイバー万博(仮称)実施の可能性」

#1 PLL Talks 「サイバー万博(仮称)」 ／開催実績

新しい万博の価値 —サイバー万博(仮称)実施の可能性— 開催実績			敬称略
第0回	2021年4月2日	(公社)2025年日本国際博覧会協会 羽端大、齋藤春香	
第1回	2021年4月7日	大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー 河瀬 直美、宮田 裕章 会場デザインプロデューサー藤本 壮介	
第2回	2021年5月7日	大阪・関西万博 会場運営プロデューサー 石川 勝 (公社)2025年日本国際博覧会協会 堺井 啓公	
第3回	2021年5月19日	大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー 石黒 浩、中島 さち子	
第4回	2021年5月26日	大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー 落合 陽一	
第5回	2021年6月11日	(公社)2025年日本国際博覧会協会 斉藤 康弘、羽端 大	
第6回	2021年7月2日	経済産業省 滝澤 豪 (公社)2025年日本国際博覧会協会 岩田 泰	
第7回	2021年7月23日	MUTEK Japan 岩波 秀一郎、竹川 潤一 (公社)2025年日本国際博覧会協会 斉藤 康弘	
第8回	2021年8月26日	(株)マクアケ 坊垣 佳奈 (公社)2025年日本国際博覧会協会 斉藤 康弘	
第9回	2021年9月9日	Venture Café Tokyo 粟生 万琴、跡部 悠未、小村 隆祐 (公社)2025年日本国際博覧会協会 羽端 大	
第10回	2021年9月10日	特許庁 橋本 直樹 (公社)2025年日本国際博覧会協会 齋藤 春香	
第11回	2021年10月11日	(一社)コード・フォー・ジャパン 関 治之 (公社)2025年日本国際博覧会協会 羽端 大	
第12回	2021年10月20日	英国デジタル・カタパルト アキ・ヤルビネン、エミリー・サバージ、ニコラス・フェルナンド (公社)2025年日本国際博覧会協会 羽端 大	
第13回	2021年11月4日	日本科学未来館 宮原 裕美 (公社)2025年日本国際博覧会協会 大嵩 豪朗	
第14回	2021年11月19日	総務省 小川 裕之 国立研究開発法人情報通信研究機構 内元 清貴、隅田 英一郎、河井 恒 (公社)2025年日本国際博覧会協会 斉藤 康弘	
第15回	2021年12月10日	POOL INC. 小西 利行 永山祐子建築設計 永山祐子	



新しい万博の価値 —サイバー万博(仮称)実施の可能性— 具体的実施の方向性 #10



新しい万博の価値 —サイバー万博(仮称)実施の可能性— 具体的実施の方向性 #12



新しい万博の価値 —サイバー万博(仮称)実施の可能性— 具体的実施の方向性 #15

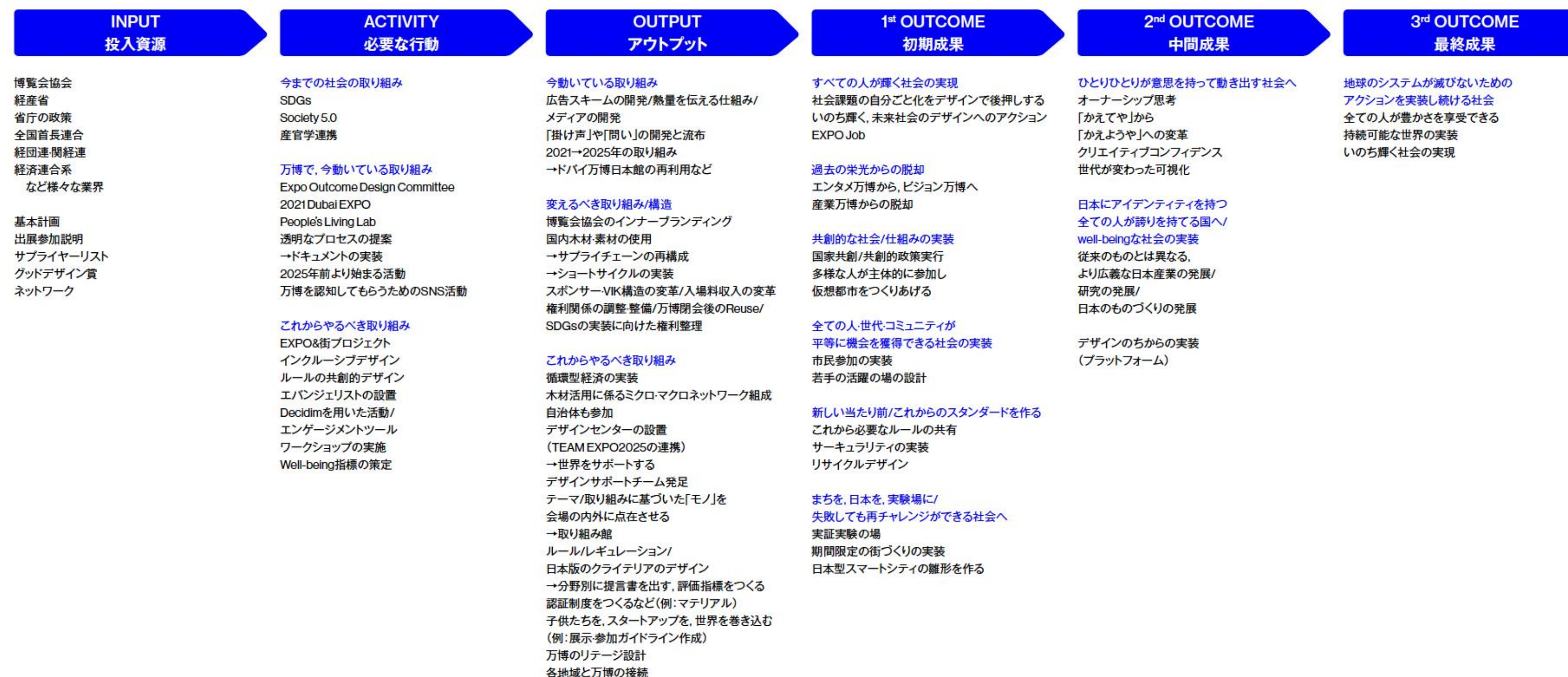
Source : https://www.expo2025.or.jp/overview/expo_pll_talks/cyber/

#2

EODC

／万博の

Logic Model



Source : https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/EODC_report_20220725_ol.pdf